

交換留学帰国報告書

記入 | 2019年6月
 所属 & 学年 | 国際開発研究科 修士2年
 卒業予定 | 2020年3月

留学先大学	ダラム大学
留学先国	イギリス
留学期間	約9ヶ月 (修士2年次に留学)
留学開始-終了	2018年10月8日 - 2019年6月28日

A. 留学に至った経緯や留学準備について

①留学する大学や国、プログラムを決めた理由を教えてください。

イギリスで歴史のある開発学を人類学的な視点から「本場」で深めたかったのでイギリスの協定校から選びました。中でも、ダラム大学は人類学に定評のある大学でかつその中で開発学関係の授業も開講されていたのでここに決めました。

②留学を志したきっかけや経緯、動機などについて教えてください。

大学院に入学する前から、留学希望はありました。開発学は学際的な分野であるということもあり、名大で受けられる授業は限られてくるので、ひとつの分野から専門性をより深めるためにも留学して学びたいという思いがありました。

③留学前の海外渡航経験があれば教えてください。

渡航先	渡航時の学年	目的 & 期間など
カナダの Victoria University	学部1年	学部の頃の語学プログラムにて。6週間
Cambodia	修士1年	GSIDの海外実地研修にて。2週間

④実際に留学準備を始めたのは応募した時期からどのぐらい前でしたか？

入学後くらいから留学先の検討はし始めていましたが、本格的な応募の準備は3カ月ほど前からだったと思います。

⑤海外留学室の個別相談を利用した方は相談回数や相談内容、参考になったことを教えてください（利用していない方は、利用しなかった理由や状況など）。

3回ほど。留学先大学や語学対策について。

B. 留学前の語学対策や単位などについて

①留学前の語学対策、TOEFLなどの受験回数などについて教えてください。

IELTS2, 3回受験しました。スピーキングが特に苦手だったのですが、友達に手伝ってもら

らうなどして対策しました。

②単位取得、単位互換、教職履修などに関するアドバイスをお願いします。

私は力をつけるためにも、修論を除いて正規の学生と同じくらいの単位を取ることを目標にしていました。（イギリスの大学院は1年なので。）正直、エッセイの量も名大に比べて多く、ロジカルな英文を書くのには大変苦労しました。自分の現状のスキルと相談しながら授業数は決めていくといいと思います。ただ、チャレンジする気持ちで臨んで、失敗したとしても、教授や友人にアドバイスを求めたりしながら前向きに向き合うことも良い経験になるので大事だなと思いました。

C. 授業や勉強について

①留学先で履修した科目と科目コード（例：MKG3001 Introduction to Marketing）、時間数、形態、授業の内容、履修方法、などについて教えてください。

ANTH40030 Key Issues in Socio-Cultural Theory
ANTH44215 Anthropology & Development
ANTH46760 Advanced Specialised Aspects in Social Anthropology
(Power & Governance, Urban Anthropology, Anthropologies of Knowledge, Anthropology, Art and Experience)

②授業を受けるにあたって、心掛けていたこと、どんな努力や工夫をしていましたか？

Key Reading は必ず読むこと。それでも追いつかない時は、Review の論文を読んだり、問題の背景をネットで調べたりしていました。

③学習面で困ったことはありましたか？どのように解決しましたか？

履修登録のシステムがいまいちよく分かりませんでした。根気強く事務に相談・交渉に行き解決しました。変更や取り消しの融通は利きました。たまに、何度メールしても他の大量のメールに埋もれてしまっていたようで全然返信が来ないことがありました。メールより直接が早いかもしれません。（メールしてと言われた場合でも。ダブルで伝えた方がいいかもしれません。笑）

D. 大学生活について教えてください。

①現地の雰囲気や大学の校風について教えてください。

ダラムは本当にのんびりした学生の街という感じです。「大きな村」という先生もいるくらい、緑に囲まれている自然豊かなところで、生活する分にはほぼ徒歩で過ごせるくらいコンパクトです。所属する学部学科によって雰囲気や留学生の比率は変わると思いますが、全体的に結構中国人留学生が多い印象でした。日本人留学生は非常に少ない方だと思います。私の学科には日本人は他にいませんでした。

②ネット環境、施設、周辺環境などハード面について教えてください。

ほぼ WiFi だけで過ごせます。ただ、接続が弱いことはあります。

③留学先でどのようにして現地の学生と交流を深めましたか（具体的にお願いします）？

同じ授業を受ける学生とは、比較的少人数のクラスだったため授業を通してお互いに切磋琢磨していくうちに自然と仲良くなりました。あとは、Anglo-Japanese Society を通して日本に関心のある学生と知り合いました。

④余暇の過ごし方（授業後や長期休暇など）について教えてください。

ほぼ寮と大学の行き来でしたが、たまに留学生用のショートトリップの機会を利用して、イギリス国内を旅行してリフレッシュしていました。春休みはロンドンキャリアフォーラムに参加をするなど、就活に時間をあてていました。

E. 健康管理、保険、予防接種など

①健康管理あるいは衛生面について注意していたことはありますか？

ストレスを溜め込まないこと。春は暖かくなったと思ったらまた冬みたいに寒くなったりするので体調管理に気を付けた方がいいと思います。

②留学中に病院へ通った経験の有無、医療費などについて教えてください。

なし。

③加入した保険の種類について教えてください。

☐留学先の大学が用意した「キャンパス保険」への強制加入

*キャンパス保険でカバーされない部分は、個人保険に加入も含む

☒個人の保険のみ

☐キャンパス保険と個人の保険の二重加入

④留学するにあたって、予防接種は必要でしたか？

☒はい（種類：）

☐いいえ

F. 住居、食事、マナーなどについて

①留学中の滞在先について教えてください。

形態	☒ 寮 ☐ 下宿 ☐ アパート ☐ ホームステイ ☐ その他（ ）
何人部屋	（ 1 ）人

②生活（住居、食生活、服装など）や習慣の違い（マナー、対人関係）、安全面などについて、困ったこと、気をつけていたことがあれば教えてください。

特にありません。ただ、食事は寮のごはんに飽きて日本食が恋しかったです。

③日本から持参するとよいもの、または持参しなくてもよかったと思うものは何でしょうか。

フリーズドライの味噌汁、緑茶、常備薬。イギリスで買えるかもしれませんが、自分がほっとできるものを持って行くと思います。

- ④参考となる留学先国の情報（出版物、web サイト）を教えてください。

大学のホームページ、個人のブログなども参考にしました。

G. 留学費用について

- ①留学費用や支出の管理などに関してアドバイスがあれば教えてください。

寮費の支払いのために口座開設が必要なのですが、Monzo がおすすめです。銀行に行かずにオンラインで簡単に開設できます。初めはいまいち機能が分からなかったのですが普通の銀行口座も開設しましたが、Monzo だけで問題ないです。日本からの送金は手数料が安い Transferwise を利用していました。
（日本にネットバンキングできる口座があることが前提です）

- ②奨学金はもらっていましたか？

☒はい （奨学金名：JASSO 支給額：月額8万円と渡航費分）

☐いいえ

- ③差し支えなければおおよその留学費用を教えてください。*内容の費目は自由に変えてください。

内容	金額	備考
渡航費	約 20 万円	奨学金を利用しました。
保険代	約 14 万円	
予防接種・ビザ代	約 7 万円	
寮費	約 100 万円	学期中の食費、光熱費込み。学期外は自炊。
その他生活費	約 10 万円	
教科書代	0 円	

F. 今後の進路や目標、就職活動について

- ①卒業後の進路（進学、就職、その他）について教えてください。

☐進学

☒就職

☐その他（ ）

- ②今後の進路や目標があれば教えてください。また留学の前後で、進路や目標に対しての考え方や気持ちの変化があれば教えてください。

留学先で得た人類学的な視点を修論に活かすこと。
レベルの高いクラスメートに出会ったことで以前よりも高い目標を持てるようになったと思います。

- ③留学中に就職活動を行った方は、具体的なエントリー、一時帰国の時期、感想などを教えてください。海外留学生用の就職活動を受けた場合はそれに関する情報もお願いします。

就活サイト（マイナビ、リクナビ、外資就活、OneCareer、Unistyle、Career Forum Net、など）に登録して情報収集するほか、4 月にロンドンキャリアフォーラムに参加するなど

して準備していました。
一時帰国はしていません。

F.留学を終えて感じること

- ①留学を終えて今の率直な気持ちや感想、印象に残っていることなど教えてください。

留学で1年卒業を延ばすことになりましたが、本当に行って良かったなと思っています。
留学したからこそ気づけたことは生活面から学習面、社会的な価値観までたくさんあり、
そうしたちょっとした気づきを帰国後も忘れずに持っておきたいと思いました。

- ②留学したことで、何がどのように変わったと思いますか？

学習面で言うと、自分がやりたい研究が明確になりました。
自身が留学生として過ごしたおかげで、日本にいる留学生や外国人に対する見方（どうい
ったことに不安を感じるかを想像できるようになったなど）が変わったように思います。

- ③現在、留学を考えている学生へのメッセージをお願いします。

院での留学は学部で行くのとはまた違った良い経験になると思います。
名古屋大学は奨学金をはじめ、留学支援の制度が整っているのでぜひ活用して掲げた目標
にチャレンジしてください。かけがえのない経験になるはずです。

以上